

再評価結果（平成27年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：茅野 牧夫

事業名	一般国道163号 <small>きよたきいこま</small> 清滝生駒道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 近畿地方整備局																						
起終点	自：大阪府四條畷市中野 至：奈良県生駒市鹿畑町	延長	11.0km																								
事業概要																											
<p>一般国道163号は、大阪府大阪市を起点とし、奈良県から京都府を経て三重県津市に至る延長約110kmの主要幹線道路である。</p> <p>清滝生駒道路は、一般国道163号の交通混雑の緩和、異常気象時通行規制区間・線形不良区間の解消、沿道環境の改善、交通安全の確保、関西文化学術研究都市の開発支援等を目的に計画された道路である。</p>																											
S54年度事業化	S54～S62年度都市計画決定 (H16年度、H23年度変更)	S56年度用地着手	S56年度工事着手																								
全体事業費	約1,066億円	事業進捗率	55%	供用済延長	3.6km																						
計画交通量	33,400台/日																										
費用対効果分析結果	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">B/C</td> <td style="width: 10%;">(事業全体) 1.1</td> </tr> <tr> <td>(残事業)</td> <td>2.7</td> </tr> </table>	B/C	(事業全体) 1.1	(残事業)	2.7	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">総費用</td> <td style="width: 10%;">(残事業)/(事業全体)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>467/1,374億円</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>422/1,320億円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>45/54億円</td> </tr> </table>	総費用	(残事業)/(事業全体)		467/1,374億円	事業費	422/1,320億円	維持管理費	45/54億円	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">総便益</td> <td style="width: 10%;">(残事業)/(事業全体)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1,270/1,491億円</td> </tr> <tr> <td>走行時間短縮便益</td> <td>1,133/1,358億円</td> </tr> <tr> <td>走行経費減少便益</td> <td>127/124億円</td> </tr> <tr> <td>交通事故減少便益</td> <td>11/8.0億円</td> </tr> </table>	総便益	(残事業)/(事業全体)		1,270/1,491億円	走行時間短縮便益	1,133/1,358億円	走行経費減少便益	127/124億円	交通事故減少便益	11/8.0億円	基準年 平成23年	
B/C	(事業全体) 1.1																										
(残事業)	2.7																										
総費用	(残事業)/(事業全体)																										
	467/1,374億円																										
事業費	422/1,320億円																										
維持管理費	45/54億円																										
総便益	(残事業)/(事業全体)																										
	1,270/1,491億円																										
走行時間短縮便益	1,133/1,358億円																										
走行経費減少便益	127/124億円																										
交通事故減少便益	11/8.0億円																										
感度分析の結果																											
<p>【事業全体】交通量：B/C=1.0～1.2(交通量 ±10%) 【残事業】交通量：B/C=2.4～3.0(交通量 ±10%)</p> <p>事業費：B/C=1.1～1.1(事業費 ±10%) 事業費：B/C=2.5～3.0(事業費 ±10%)</p> <p>事業期間：B/C=1.0～1.2(事業期間 ±20%) 事業期間：B/C=2.6～2.8(事業期間 ±20%)</p>																											
事業の効果等																											
<p>交通混雑の緩和</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般国道163号の交通量は増加傾向で交通容量を超過しており、整備により交通円滑化が期待できる。 <p>関西文化学術研究都市へのアクセス改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 整備により、大阪府中心部からの関西文化学術研究都市へのアクセスが改善されることが期待できる。 <p>交通安全の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般国道163号では、通学路を含めた歩道未設置区間が全体の約4割あるが、整備により、歩道が設置され、歩行者の安全性が確保されることが期待できる。 <p>JR新大阪駅へのアクセス向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 精華町～JR新大阪駅の所要時間が短縮（95分 77分） <p>関西国際空港へのアクセス向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 精華町～関西国際空港の所要時間が短縮（109分 90分） <p>大阪港へのアクセス向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 生駒市（北田原工業団地）～大阪港の所要時間が短縮（76分 69分） <p>主要観光地へのアクセス向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 沿線へのアクセス性向上により、観光客の増加が見込まれる。 （平城宮跡：観光客入込数：1,396万人/年） <p>沿道環境の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 現道の並行区間では騒音レベルが要請限度を超過（生駒市上町：昼間76dB、夜間74dB、生駒市鹿畑町：夜間71dB） 																											
関係する地方公共団体等の意見																											
<p>地域から頂いた主な意見等</p> <ul style="list-style-type: none"> 国道163号整備促進期成同盟会（S63.5設立、木津川市他関係2市1町の首長で構成）、関西文化学術研究都市建設推進協議会（S58.3設立、関西経済連合会会長他関係2府1県知事及び大阪、京都、奈良商工会議所会頭で構成）より整備促進の要望を受けている。 																											

大阪府知事からの意見

1. 平成25年度の清滝第二トンネル区間等の供用に伴い、トンネル区間が上下線で交通分離され、対面通行が解消し、安全性向上等に寄与しています。しかしながら、更なる整備効果の発現には、一日も早い全線供用が必要であり、段階的な整備も含め、全線整備の事業スケジュールを明らかにされたい。
2. 事業の実施にあたっては、道路構造や施工方法について十分に検討の上、より一層のコスト縮減に努められたい。
3. 今後とも事業を円滑に進めるため、沿道環境への配慮や交通安全対策、地域振興などに関する地域住民の意見を十分に踏まえながら、事業の推進に努められたい。

奈良県知事の意見

国道163号清滝生駒道路は、奈良県北部における東西方向のネットワーク強化を図り、関西学術研究都市などの地域の振興にも寄与する重要な幹線道路です。

また、平成25年1月に公表された「地域の主要渋滞箇所（奈良県渋滞対策協議会）」においては、清滝生駒道路の現道区間の北田原大橋交差点～高山大橋交差点などが渋滞区間となっており、渋滞解消に向けて早期整備が必要です。

県としても、渋滞解消や交通の円滑化に効果のある高山大橋交差点周辺の平成27年度供用にあわせ、県道枚方大和郡山線等の関連事業を一体的に進めているところです。

以上のことから、対応方針案のとおり事業継続が妥当と考えます。

事業評価監視委員会の意見

審議の結果、「一般国道163号清滝生駒道路」の再評価は、当委員会に提出された資料、説明の範囲において、おおむね適切に進められており、対応方針(原案)のとおり「事業継続」でよいと判断される。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

清滝トンネル開通以降、一般国道163号の交通量が増加しており、依然として交通容量を超過している。

事業の進捗状況、残事業の内容等

昭和54年度に事業化、用地進捗率57%、事業進捗率55%（平成26年3月末時点）

平成25年度まで、四篠畷市中野～清滝トンネル東側 延長3.6km（4/4）部分開通

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

平成27年度：生駒市高山町（一般部） 延長0.4km（2/2）開通予定

施設の構造や工法の変更等

事業実施にあたり、新技術・新工法の活用等によりコスト縮減に努める。

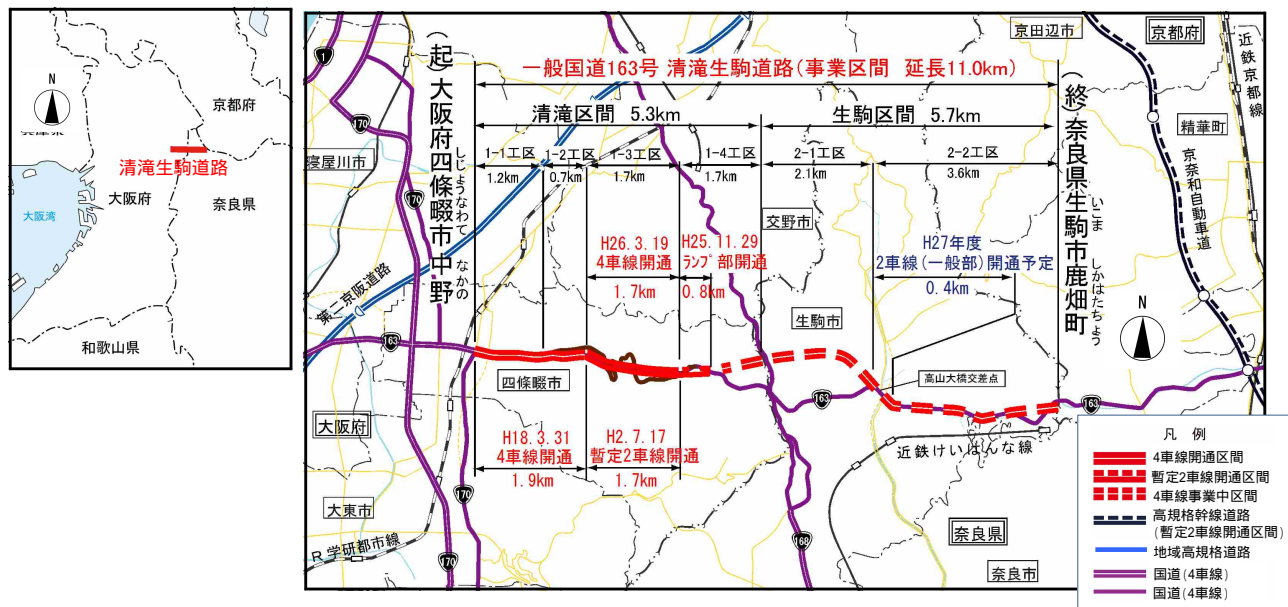
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。